

授業科目名	教育原理 A (初等) (2100109)		
時間割名	教育原理 A (初等) (31102)		
時間割担当	松田智子		
実施期	後期	単位数	2 必修
曜日・時限	水・1		

授業の目標・概要

この授業では小学校教員をみざす学生を対象に、小学校教育の基本的な原理と制度について、歴史や思想と現代的な諸課題を関連づけながら講義する。授業の導入として、学生にはまず自らが経験してきた「教育」を相対化し、「教育」に対する先入観を疑ってみる作業を求める。そうして自らの教育観・学校観を問い直した上で、改めて教育に関する基礎知識を体系的に習得し、現代社会において学校や幼児教育が果たす役割や、現代の学校と教師が直面している問題について歴史的、社会構造的に理解し、考察できる力を身につけることをみざす。

学習の到達目標

- ・ 教育の本質については、つねに根底において「人間とは何か」という人間である限り問われ続ける問題を意識しながら、「教育とは何か」について考察する必要がある。
- ・ 教育の目的については、「教育基本法」を理解する必要がある。教育の内容については、カリキュラムの概念や教育内容の選択基準等についてよく捉えなければならない。

授業方法・形式

1. それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
2. 必要に応じて、取り上げるテーマに関するディスカッションを行う。

授業計画

授業計画 (1)

- 第1回 人間の存在と教育 (担当: 中田正浩)
他の動物との相違点を踏まえながら、人間にとって教育の必要性とは何か。
- 第2回 教育の目的と作用 (担当: 中田正浩) 教育の作用として「成長させる」とは何か。
- 第3回 古代ギリシア、ローマの教育 (担当: 中田正浩)
古代ギリシアにおけるアテナイの教育とスパルタの教育の違いは何か。
- 第4回 中世からルネサンス期の教育 (担当: 中田正浩)
中世においてはキリスト教界を中心に進められるが、ルネサンス期以降の教育においては、現代の教育にもつながる重要な教育思想や理念があるが、現在の教育との関連で明らかにする。
- 第5回 17世紀の教育 (担当: 中田正浩)
17世紀には近代教育に大きな影響を与えたコメニウスの教育思想が主張され、19世紀に実現することになるが、それはどのような構想であったのか。アメリカにおける植民地教育の特徴は何か。
- 第6回 啓蒙主義の教育 (担当: 中田正浩)
啓蒙主義の時代の教育思想に属する教育家・思想家のロックやルソーの教育思想を明らかにする。
- 第7回 新人文主義と19世紀の教育 (担当: 中田正浩)
ペスタロッチの生活陶冶とは何か、またフレーベルの汎神論に基づく児童神聖論とは何か。
- 第8回 20世紀の教育 (担当: 中田正浩)
アメリカの教育学者デューイの児童中心主義とは、ケルシェンシュタイナーの労作学校とは何か。
- 第9回 公教育と家庭学校社会 (担当: 松田智子)
個人の内面を重視した人間教育と社会性を有した人格形成とはどのような関係にあるべきか。
- 第10回 家庭学校社会の再考 (担当: 松田智子)
教育の役割という観点から捉えたとき、この文化資本をどのように理解すべきか。
- 第11回 教育課程の意義と類型 (担当: 松田智子)
教育目的(目標)との関係においてカリキュラムの意義とは何か。
- 第12回 教育課程編成の実際 (担当: 松田智子)
学習指導要領を踏まえた各学校におけるカリキュラムの編成の手順を明らかにする。
- 第13回 学習指導の方法 (担当: 松田智子)
学習指導の基本的な形態とは何か。教育目標に到達させるための学習指導システムとは。

成績評価の基準

授業計画 (2)

- 第14回 生活指導の方法 (担当: 松田智子)
生活指導の目的とは何か。また、生活指導の内容と方法とは何か。
- 第15回 授業の総括としてこれまで身につけたことについてまとめる。(担当: 松田智子)

成績評価の基準

毎回の授業中に行う小レポートと毎回の課題レポートを中心に評価し、授業に対する理解度をチェックしていく。(30%)さらに、学習記録ノート(学生作成)の緻密さなどを評価する。(30%)さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する。(40%)

授業時間外の課題

授業の事前にテキスト該当の部分にある重要な用語や語句、あるいは歴史的な出来事などについて要約しておく。

メッセージ

講義時間内にお伝えします。

教材・教科書

テキスト：中田正浩・松田智子「次世代の教育原理」大学出版 2012

参考書

参考書：授業中に指示する